（※「部活動名」「活動内容」は必ず入れて下さい。それ以外は自由に作成していただいてかまいません。レイアウトも自由です。）

弓道部

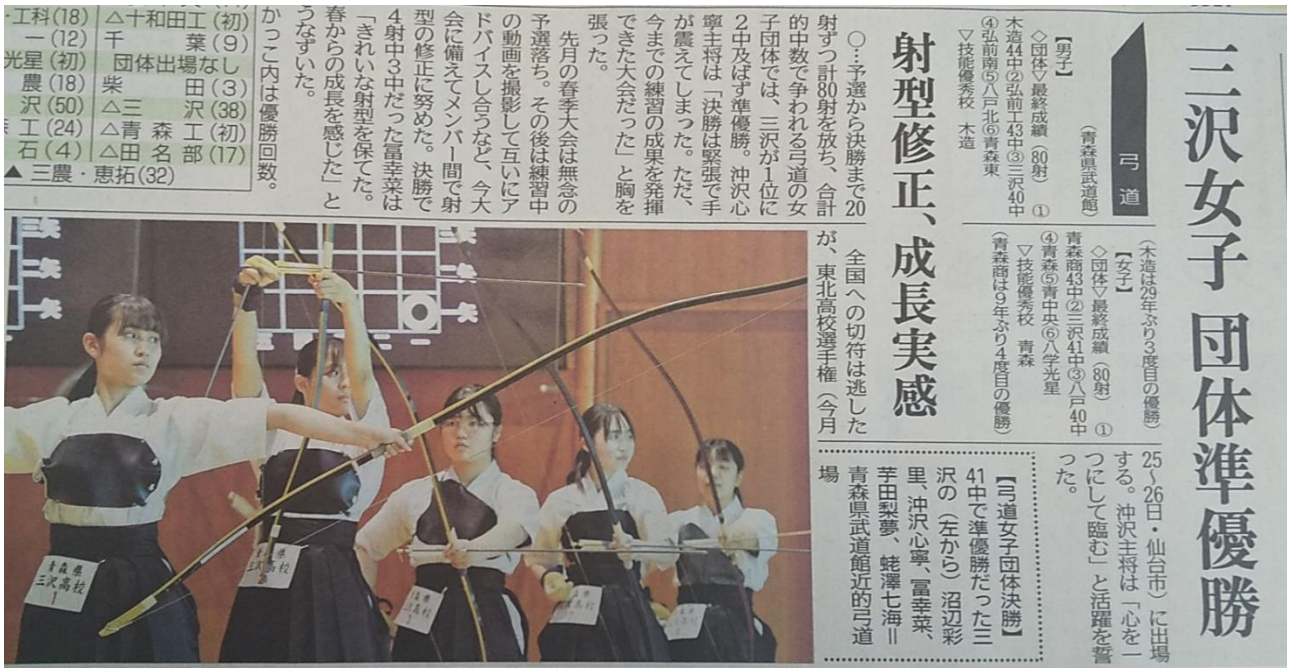
【弓道について】

弓道の弓にはアーチェリーのような正確な照準機がついていません。自分の体や筋肉の感覚だけを頼りにしているので、会場の雰囲気や対戦相手の的中に影響されやすく、ちょっとした心の動揺が的中を狂わせることになります。

練習では技術を磨いて的中率を上げるだけでなく、物事に動じないで自分の射に集中する心、いわゆる『不動心』『平常心』も養うことが大切になります。

【大会結果】

令和３年度	県南地区大会	男子団体	第１位
		女子団体	第１位
令和３年度	県秋季大会	女子個人	第１位（東北大会、全国大会出場）
令和４年度	県春季大会	男子団体	第３位
令和４年度	県高校総体	男子団体	第３位（東北大会出場）
		男子個人	第６位（東北大会出場）
		女子団体	第２位（東北大会出場）
		女子個人	第５位（東北大会出場）



弓道

三沢女子 団体準優勝

（木造は29年ぶり3度目の優勝）

【女子】

◇団体▽最終成績（80射）①青森商43中②三沢41中③八戸40中④青森⑤青中央⑥八学光星

▽技能優秀校　青森

（青森商は9年ぶり4度目の優勝）

【男子】

◇団体▽最終成績（80射）①木造44中②弘前工43中③三沢40中④弘前南⑤八戸北⑥青森東

▽技能優秀校　木造

（青森県武道館）

射型修正、成長実感

○…予選から決勝まで20射ずつ計80射を放ち、合計的中数で争われる弓道の女子団体では、三沢が1位に2中及ばず準優勝。沖沢心寧主将は「決勝は緊張で手が震えてしまった。ただ、今までの練習の成果を発揮できた大会だった」と胸を張った。

先月の春季大会は無念の予選落ち。その後は練習中の動画を撮影して互いにアドバイスし合うなど、今大会に備えてメンバー間で射型の修正に努めた。決勝で4射中3中だった冨幸菜は「きれいな射型を保てた。春からの成長を感じた」とうなずいた。

かっこ内は優勝回数。

全国への切符は逃したが、東北高校選手権（今月25～26日・仙台市）に出場する。沖沢主将は「心を一つにして臨む」と活躍を誓った。

【弓道女子団体決勝】41中で準優勝だった三沢の（左から）沼辺彩里、沖沢心寧、冨幸菜、芋田梨夢、蛯澤七海＝青森県武道館近的弓道場

・工科(18)	△十和田工(初)
一(12)	千　葉(9)
光星(初)	団体出場なし
農(18)	柴　田(3)
沢(50)	△三　沢(38)
工(24)	△青森工(初)
石(4)	△田名部(17)

▲三農・恵拓(32)